

和歌山で見つけた一自分との向き合い方

ソン デイヒ
教育学部 交換留学生 中国

私は中国の大学からの交換留学生として、和歌山大学に一年間滞在することになった。初めての長期海外生活なので、到着した時は不安よりも期待の方が大きく、「この留学で自分の視野を広げたい、日本語をもっと上手になりたい」と意気込んでいた。

和歌山は都会のような派手さはないが、自然豊かで、落ち着いた雰囲気のある魅力的なところだ。生活にも少し慣れてきた頃、私はアルバイトをしようと思った。少しでも日本での生活費の足しにしたい、そして実際の社会に触れてみたいと思ったからだ。

しかし、想像以上にアルバイト探しは難航した。外国人であるということ、日本語の敬語や細かいニュアンスに自信がないことなどから、様々な壁に直面した。だから、ようやく、コンビニに採用が決まったときは、本当に嬉しかった。初めての日本での仕事、緊張しながらも一生懸命働いた。

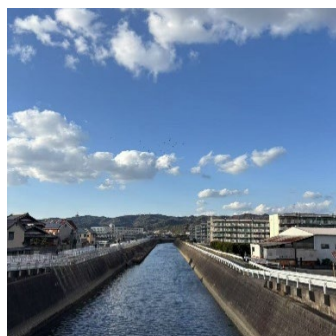
だが、2ヶ月ほど経った頃、突然店長に呼ばれ、「あなたにはちょっと向いていないかもしれない」と言われた。大きなミスをした覚えはなかったが、おそらく細かい気配りやスピード、周りとのやり取りなど、日本の働き方にうまく馴染めていなかったのだと思う。結果的に、辞めることになった。それは、私にとって大きな挫折だった。さらに、同じ時期に受けた日本語能力試験 N1 の結果も「不合格」。これまでずっと「語学が得意」と思っていた自分にとって、これも予想外のことで、ショックだった。

仕事もうまくいかず、試験にも落ち、自分に自信が持てなくなってしまった。「私の努力は足りなかったのか」「私はこの国で通用しないのか」と、毎日自分を責める気持ちでいっぱいだった。

そんな中で私を救ってくれたのが、和歌山の自然の風景だった。

ある日、大学の帰り道、ふと川沿いに立ち止まった。私が和歌山に来てから、何度も通っているその場所には、変わらぬ風景が広がっていた。穏やかに流れる川、ゆっくりと沈んでいく夕日を見ていた。それらは、私がここに来てから一度も姿を変えることなく、静かに力強くあり続けている。

川がゆっくりと流れ、川面は太陽の光を受けてきらきらと輝き、空の青さを映し出す、その穏やかな景色に、私はなぜかはわからないが、心を打たれた。そして、今の私に本当に必要なのは、単なる結果ではなく、「心の穏やかさ」なのかもしれない、と考えた。



それから、穏やかさを得るため、私は自分を責めるのをやめ、自分と向き合うことにした。N1 に落ちたのは、単に勉強不足というより、やり方に問題があったのかもしれない。ある能力が不足しているとわかったのなら、そこを集中して強化すればいい。新しいアルバイトを探す際には、自分に合う働き方や環境について考えるチャンスだと思うようになった。

「うまくいかなかった＝失敗」ではなく、「うまくいかなかった＝学びの機会」だと捉えるようになってから、気持ちが少しずつ前向きになった。再び JLPT の勉強を始めたが、今度は「合格のため」だけではなく、「自分を知るため」の勉強としても取り組んでいる。

和歌山は、穏やかで、私にとって、自分と向き合うための時間が流れる場所だ。おかげで、これまで気づけなかった「自分の心の声」を聞けるようになった気がする。留学というのは、単に語学を学ぶだけでなく、自分自身と深く向き合う旅でもあるのだと、私はこの経験を通じて実感した。

和歌山で得た「自分と向き合う姿勢」や「焦らず、自分を大切にする心」を忘れずにいたいと思う。そしていつか、自分のこのような姿勢や考え方が誰かにとっての「静かな支え」になれば、嬉しく思う。

在和歌山找到的与自己对话的方式

孙艺菲

教育学部 交换留学生 中国

我是从中国的大学作为一年交换留学生来到和歌山大学。由于是人生中第一次长期在国外生活，刚到的时候与其说是不安，倒不如说是满怀期待。我满心想着：“希望通过这次留学拓宽自己的视野，也希望能让日语更上一层楼。”

和歌山自然资源丰富，没有大城市那样的繁华热闹，却有一种安静沉稳的魅力。在逐渐适应了日本的生活之后，我决定去找一份兼职。一方面是为了减轻在日本的生活开销，另一方面也是希望能够亲身体验一下日本的社会。然而，这个过程比我想象的要困难得多。因为是外国人的身份，加上对日语中敬语和细腻表达还没有充分的自信，遇到了许多障碍。好不容易在一家便利店找到了工作，当时真的非常开心。这是我第一次在日本工作，虽然紧张，但我非常努力地去做每一件事。可是，大概工作了两个月之后，有一天店长突然叫我过去，说：“你可能不太适合这里。”虽然我没有犯什么大的错误，但也许是因为在对细节的把握、工作速度、以及与同事的配合上，还没有很好地适应日本特有的职场文化。最终，我被辞退了。对我来说，这是一段非常大的打击。更糟糕的是，我收到了自己报考的 N1 的成绩——不合格。一直以来我都认为“语言是我的强项”，因此这个结果让我倍感震惊。

找工作失败、考试落榜，让我变得非常没有自信。我每天都在自责：“是不是我不够努力？”“我是不是不适合在这个国家生活？”这样的想法充满了我的内心。就在这时，救赎我的，是和歌山的自然。有一天，在从学校回宿舍的路上，我不由自主地在河边停下了脚步。那是一个我来和歌山后经常路过的地方，眼前仍是那熟悉不变风景——温柔地流淌的河水，缓缓落下的夕阳。它们从我来日本到现在，一直静静地、坚定地守候在那里，仿佛在默默守护着某个人、某个地方。那一刻，我被眼前的景色深深打动了。自那以后，我不再一味责备自己，而是学着去面对真实的自己。N1 落榜，也许不是因为学习不够，而是学习方法出了问题。如果知道了自己的弱点，就应该集中去改进它。重新找兼职这件事，也让我有机会去思考：到底怎样的工作方式、怎样的环境才真正适合我。我开始换一种眼光去看待问题。不再把“做不好”等同于“失败”，而是把它当作一次“学习的机会”。意识转变后，我的心态也渐渐积极起来。我再次开始准备 JLPT 考试，这一次，不只是为了“通过”，而是为了“更了解自己”而学习。

和歌山是一个时间流动得特别缓慢的地方。在这里，我感受到了一种在大城市里无法察觉的宁静，仿佛终于能听见内心真正的声音。我深深体会到，留学并不只是学习语言而已，更是一次真正面对自己的旅程。我想要把在和歌山学到的“认真生活的态度”和“不要急躁，珍惜自己内心节奏的心”一直铭记在心。将来某一天，如果我能成为别人心中“安静的支撑”，那对我来说，就是生命中最有意义的一件事了。

